

キャッチフレーズ

誰もが安心して暮らせる矢向のまち

第5期計画で力を入れたいこと

1 子どもが健全に過ごせる場づくり

具体的な活動

- 1 乳幼児期から地域とつながっていける環境づくり（赤ちゃん会、子育て相談、とちのきっすサロンなど）
- 2 子どもたちが地域のつながりの楽しさや大切さを感じられる矢向のまちづくりを進めていく。（あいさつ運動、こどもフェスタなど）
- 3 小・中学生が地域との関わりを増やせるよう交流・取組を進めていく。（総合学習での連携、地域イベントへの参画など）



こどもフェスタの様子

2 住民の参加・担い手づくり

具体的な活動

- 1 町会の垣根を越え、子どもから高齢者、障害がある方など誰でも参加できるイベントを行う。（お祭り、運動会、グラウンドゴルフなど）
- 2 若い世代が参加しやすい仕掛けづくりを進めていく。（イベント内容や情報発信の工夫など）
- 3 多世代・多文化の住民が交流できる機会をつくる。（矢向ふれあいcafé、多文化共生講座など）



矢向ふれあいcaféの様子

3 住民同士の見守り見守られる関係づくり（ゆるやかな見守り）

具体的な活動

- 1 地域の方が身近な場所で安心して集まれる居場所をつくる。（サロン、体操、趣味活動など）
- 2 ひとり暮らしの高齢の方など支援が必要な方を日ごろからの見守る活動。
- 3 災害の際に支えが必要な方をはじめ、地域でお互いが助け合える地域づくり（防災訓練、黄色いリボン運動など）



防災拠点訓練の様子

神社神輿宮入（矢向日枝神社）

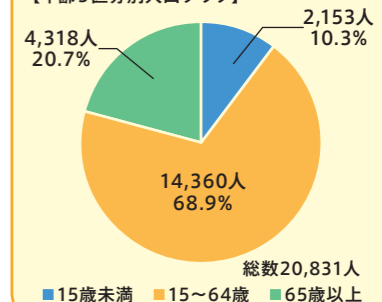


出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」（令和7年9月末日現在）※集計上の誤差があり、実態と一致しない場合があります。

DATA

川崎市と隣接しており、住民の生活圏域は川崎駅方面に広がっています。東京や横浜方面へのアクセスも良く、マンションや新築戸建て住宅の建設が進み、子育て世代家族が増えています。

【年齢3区分別人口グラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

- あいねっとクイズラリーの実施に併せて、シールアンケートを行いました。小学生から子育て世帯、高齢の方など幅広い地域の皆さんから目指したい矢向のまちのイメージを伺いました。
- 推進委員会にて、4期の振り返りと5期に向けてのグループワークを行いました。地域の皆さんの活動の中で「やっていること」や「これからやりたいこと」などを付せんに貼って共有し、活発な意見交換を行いました。子どもと地域との交流・参加を進め、将来の担い手づくりにつなげたい、などさまざまな意見があがりました。



これまでの計画（第4期）の振り返り

誰もが安心して暮らせる矢向のまち

目標① 子どもが健全に過ごせる場づくり

矢向小入学式で新入生に声かけを行い、「あいさつ」によるつながりづくりを進めました。

目標② 住民の参加（担い手づくり）

10月のとちのきフェア「あいねっとクイズラリー」を通じて地域参加の意識が高まりました。

目標③ 住民同士の見守り見守られる関係づくり（ゆるやかな見守り）

矢向ふれあいCaféを毎月開催し、多世代交流によりゆるやかな見守りにつながっています。